

## 1. 内外政

- ・2日、スヘティナ・ポーランド外相及びリデゴー・デンマーク外相がモルドバを訪問、ゲルマン外務・欧州統合相等と会談。同日、プリンケン米国国務副長官がモルドバを訪問、ティモフティ大統領及びガブリチ首相等と会談。
- ・14日、ガブリチ首相は、シェフチューク沿ドニエストル「共和国大統領」と初会談、沿ドニエストルを経由する列車の移動に関する協定を2016年末まで延長することで合意。
- ・22日、ガガウズ自治区首長選挙の第一次投票が実施、ブラフ議会議員(無所属)、ドウドグロ・コムラト市長及びヤニオグロ・ガガウズ自治区第一副首長を含む11名が出馬。同25日、同自治区選管によって発表された公式結果によれば、ブラフ議会議員が51.11%を獲得し決選投票を待たずに当選を決定(ドウドグロ市長は19.05%、ヤニオグロ第一副首長は7.06%を獲得)。
- ・23日、レアンカ前首相は、「欧州人民党」と称する新政党の立ち上げを発表。同党にはレアンカ前首相及びカルポフ前副首相の他、グローザ前外務・欧州統合次官及びキヴェリ前外務・欧州統合次官等が所属。

## 2. 経済

### ▼マクロ経済

・2014年の実質GDPは4.6%成長。名目GDPは現在の通貨価値で1115億レイ。

### ▼経済改革・IMF

・30日、IMFの派遣団がキシナウ入り。4月4日まで滞在し、モルドバとの新規協力プログラムの実施可能性を審査。モルドバは、2010年IMFとの協力プログラムに署名したが、モルドバ側の義務の不履行により、最後のトランシェを受け

取れずに同プログラムが終了

### ▼天然ガス関連

・モルドバは、EUの財政支援によって建設されたヤシーウングーニ・パイプラインを通じ、2015年にルーマニアから、100万 $m^3$ 以上の天然ガスを1,010ルーマニア・レイ(4,000モルドバ・レイ強)/ $km^3$ で購入する予定。モルドバは現在、ロシアから311ドル/ $km^3$ (約5,600モルドバ・レイ)で天然ガスを購入。トリボイ経済省次官は、ルーマニアからの天然ガス輸入の開始は、国家システムを欧州のエネルギー市場に繋げる政府の戦略を実施するためにも、エネルギー安全保障のためにも、重要な一歩である旨発言。天然ガスの売買契約はルーマニアのOMV Petrom Gas社とモルドバのEnergocom社の間で2014年12月22日に締結。ヤシーウングーニ・パイプラインの建設コストは2,600万ユーロ、うち700万ユーロがEUの無償資金援助。パイプラインの容量は15億 $m^3$ 。

### ▼国際支援

・20日、議会は、世銀の国際開発協会との融資協定を批准。同融資により、保健部門の現代化のために3,080万ドルを受領。融資期間は25年であり、利率1.25%の5年の猶予期間が存在。同融資協定は2014年7月11日に署名。

## 3. 防衛

・16日、ガブリチ首相は、スルテンベルグNATO事務総長との会談において、モルドバとNATO間の政治対話と協力関係を促進すると発言。

※本月報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

(了)